

野村 諒子

(フォーラム三島)

【他の質問事項】

ひとり親家庭の状況把握と取り組み



上岩崎公園

■上岩崎公園駐車場の今後の整備

◎上岩崎公園の駐車場が道路計画のため使用できなくなるが、近隣の未使用の市有地を駐車場として整備できないか伺う。

▲上岩崎公園の北側の市有地を駐車場として整備することができれば、現在使用している駐車場よりも公園に近くなり、利便性、安全性が図られるため、今後駐車場として利用できるか検討していく。

■三島駅北口周辺のにぎわい創出

◎増加する宿泊型観光客への対応として、三島駅北口周辺の市有地を活用し、土産物販売所の誘致などにぎわい創出はできないか伺う。

▲三島駅北口広場の機能拡充や渋滞解消に向けた取り組みなど、今後の北口広場のあり方を検討する中で、土産物販売所の誘致やにぎわいの創出についても検討していく。

杉澤 正人

(改革みしま)



小学校6年生授業風景

■授業用電子黒板の活用と推進

◎今年8月から小学校に導入された電子黒板の今後の活用が期待されるが、中学校への導入はいつ頃を考えているか。

▲小学校の様子からも、電子黒板は大変学習効果が高いと認識しており、中学校の整備についても来年度に向けて検討をしているところである。また、教師用デジタル教科書についても合わせて整備したいと考えている。

■楽寿園内にある三島市郷土資料館の運営状況

◎入館者数だけでは計れない郷土資料館の内実的価値を、どのように考えているか。

▲入館者数は本来の目的達成度を評価する指標の一つである。今後も入館者数を増やす努力を重ねるとともに、公開展示の充実や体験学習を主とした教育普及事業にも重点を置き、郷土についてもっと知っていただけるようにしたい。

堀江 和雄

(公明党)



納骨堂 (イメージ)

■市営墓地と納骨堂

◎平成26年度に実施した三島墓園納骨堂に関する調査結果を踏まえた新たな納骨堂の建設整備計画と事業スケジュールを伺う。

▲三島墓園内に唯一残された平坦地約250㎡に、建築面積76㎡、鉄筋コンクリート平屋建て、合葬式で約2,000体の焼骨が収蔵可能な納骨堂を計画している。スケジュールは財政状況や民間の整備状況を勘案した上で、今後検討していく。

■防犯灯のLED化推進事業

◎平成27年7月に事業のプロポーザルが行われたが、現在の進捗状況と今後のスケジュールを伺う。

▲市内の防犯灯についての調査業務が完了し、平成27年12月からLED照明への付け替えを始めた。平成28年1月末までに、6,884灯の付け替えが完了し、平成28年4月には10年間の保守管理を含むリース契約締結の予定である。

下山 一美

(日本共産党議員団)



三島市立東幼稚園

■子育て支援としての市立幼稚園の預かり保育の実施

◎県内では58.6%の市町で実施されている公立幼稚園での預かり保育を、ニーズに応じて設備や人員を整え、早期に実施してはどうか。

▲昨今の公立幼稚園における預かり保育のニーズの高まりを受け、三島市においても預かり保育の必要性を十分認識しており、早期実施に向けて、今後幼児の健康と安全を考慮したより詳細な検討を進めていく。

◎非婚ひとり親への寡婦控除のみなし適用について、これまで議会でも再三取り上げられたが、来年度からの実施を求めるがどうか。

▲非婚であっても、ひとり親家庭であることに変わりはなく、保育料が家計に与える影響を考慮すると、寡婦控除のみなし適用は必要と考えるため、平成28年度から実施することを検討していく。

中村 仁

(緑水会)

【他の質問事項】

□東部・伊豆地域を見据えた観光ルートの確立



FMみしま・かなみ (ボイスキュー)

■FMみしま・かなみと三島市民との関係

◎近隣市町や浜松市など行政からコミュニティFMへの歳出額を踏まえ、三島市からFM局への歳出額についての評価を伺う。

▲FM局への歳出額は地域性があり、他市町と一概に比較するのは難しいが、FMみしま・かなみと同規模のFM局の放送料金単価を比較したところ、ほぼ同程度の金額であるので、妥当な金額と評価している。

■財政状況を踏まえた今後の公共料金

◎下水道を利用できない地域の市民の負担にも関わる下水道料金改定を、そのような地域の市民も参加し早期に検討すべきではないか。

▲平成29年4月からの企業会計移行により下水道事業の経営情報を総合的に把握することが可能となるため、市民に分かりやすい下水道料金のあり方なども含めて、資金マネジメントの面から考えていく。

岡田 美喜子

(新未来21)



企業の清掃活動の様子

■中小企業のCSR(地域貢献)を産業振興へ

◎産業振興対策として、三島市独自のCSRチェックリスト作成やCSR企業認証制度を創設して中小企業のCSRを推進してはどうか。

▲CSR企業認証制度は意義のある制度と考えている。みしま経営支援ステーションにおいて、経営者の意見も伺いながら、チェックリストの作成も含め、制度の必要性や先行事例の研究を行い、導入について検討していく。

■子どもたちのコミュニケーション能力向上策

◎ICTに囲まれて育った子どもたちの地域活動やボランティア活動を充実させるために、学校としてどのようなことを考えているか。

▲自治会などと連携し、活動の目的や教育的意義の共通理解を図るとともに、安全面の確認を行い、子どもたちが参加しやすい環境を整えていく。

18人の議員が行った主な質問について、寄せられた原稿を掲載します。